

# 「コンサ百年の森づくり」2014年度事業報告

## 《事業経過》

コンサドーレ札幌は未来の子供たちに豊かな緑を残すため「コンサ百年の森づくり」を2008年6月にスタートしました。2004年9月の台風18号によって甚大な風倒被害を受けた支笏湖周辺国有林のうち、11.63ヘクタールを対象に植林活動を行い、失われた森の復興を目指しております。2008年度から2010年度までに7,700本の植樹を行いました。

また、2009年度から小学生を対象とした「森の教室」を開催しています。カミネッコン作りや森の仕組みについての授業を行い、森や自然、環境についての理解を深める活動を展開しています。

### 【カミネッコンとは】

北海道大学名誉教授で、森林空間研究所を主宰する東三郎さんが1997年に考案した、再生紙や古紙を素材にした植栽用の紙ポットです。

再生ダンボールを使った組み立て式ポットで、これに培養土と苗木を入れて少し育て、森をつくりたい場所に置くだけです。地面を掘ったり、面倒な世話などはしなくてよいものです。ポットはやがて風化してなくなり、数年後には小さな森ができあがる仕組みです。

## 《事業内容》

- 実施主体 コンサ百年の森づくり実行委員会（札幌市西区宮の沢2条3丁目4-1）
- 活動の構想 コンサドーレ札幌の選手、サポーター、スポンサー、株主、小学生等による植樹など、森づくり活動の体験や自然観察会などの学習「森の教室」を通じて地球環境保全意識を高める。
- 植林対象地 石狩森林管理署 千歳森林事務所 5460林班（水明林道付近一帯。モーラップスポーツ林東側、支笏湖ビジターセンターから約2.5km）
- 植林予定面積 11.63ヘクタール
- 活動協力団体 NPO法人 北海道森林ボランティア協会

### 【森の教室について（要旨）】

小学生を対象とした森の教室は、原則コンサ百年の森で行います。

石狩森林管理署の方を講師にお迎えして、コンサ百年の森の状況と森の機能や環境について学習してもらいます。カミネッコンの苗木による補植説明後、カミネッコンに思い思いのメッセージを書き入れてもらい、植樹会を実施します。

### \*基本講習内容（約1時間）

- ・森の環境等についての学習（講師：石狩森林管理署、北海道森林ボランティア協会ほか）
- ・カミネッコン作成および植樹

※その後コンサドーレ札幌選手との交流

## ≪2014年度「コンサ百年の森づくり」≫

9月（適時） 植樹部分の除草刈り（森林ボランティア協会スタッフのみなさん）

10月2日 「森の教室」の開催（北広島市立北の台小学校の6年生）

10月4日 「コンサ百年の森」へ補植（委託）

## ＜2014年度「森の教室」＞

○日 程 2014年10月2日（木）

○場 所 北広島市立北の台小学校校庭

○参加児童 同校6年生 77名

### ○実施内容

現地に石狩森林管理署の方を講師にお迎えして、北の台小学校6年生77名の児童を対象に開催。初めに当事業地の状況と、森の仕組みについてのお話を聞き、森林を取り巻く自然環境について学びました。その後、全員でカミネッコン作りを行い、思い思いのメッセージを記入。さらにカミネッコンの苗木の一部を校庭に設置しました。

参加した児童は、森とそこに棲む生き物の話を聞いて「大きなシマフクロウが棲める森を大切にしたい」「今度はコンサ百年の森に行ってみたい」などの森に対する思いや、校庭に植えた苗を見て「ちゃんと大きくなるかな」「ここなら毎日観察できるね」など、さまざまな感想を述べていました。

また、コンサドーレ札幌の2名の選手（工藤光輝選手・上原拓郎選手）との交流も楽しみました。

今回は9月の集中豪雨により植林対象地周辺の林道が分断され、バスが入れない状況に陥り、現地での実施をやむなく断念。しかしながら関係各所のご協力により、子供たちが楽しみにしていた「森の教室」を校庭で行うことができました。これからも「森の教室」を通して、北海道の子供たちへ森林や自然環境についての理解を深める取り組みを実施していきます。

## ≪『コンサ百年の森づくり』が「生物多様性の保全のために」できること≫

『コンサ百年の森』は、支笏洞爺国立公園内の支笏湖畔近隣に位置しております。この地区は、2004年9月の台風18号によって甚大な被害を受け、多くの風倒木が発生しました。当地区における植樹活動は、生態系の中で相互に影響しあう場となる森の再生に必要不可欠であると確信しています。またこのような継続的な活動が生物多様性の保全になるばかりではなく、地球温暖化をも防ぐと考えております。

『コンサ百年の森づくり』の取り組みは、北海道唯一のJリーグのクラブチームであるコンサドーレ札幌を応援するサポーターをはじめスポンサー、株主、子供たちを含む一般市民に向け、コンサドーレ札幌のホームページ、試合プログラム、月刊誌などを通して広く告知。継続的な植樹活動及び森の育成の必要性を説いています。

また実際に多くの人々が生物の憩いの場となる森林の恩恵を受けながら植樹活動に参加し、「森の教室」において小学生がその機能や生態系を学ぶことによって得られるものは多く、その参加者は自然のメカニズムを守るための永続的なプロセスは続けていかなければならないものであることに自然と気づかされます。

コンサドーレ札幌のマスコットキャラクター「ドーレくん」は、絶滅危惧種のシマフクロウをモチーフとしております。『コンサ百年の森づくり』はその名の通り継続的な森の育成活動によっていずれはシマフクロウも生息できるような森の形成を願って行っています。当活動に共感、参加していただける市民が増えることこそ生物多様性の保全に貢献できることだと考えております。



# 平成 27 年度 貸借対照表

(単位：円)

平成 27 年 3 月 31 日現在

コンサ百年の森づくり基金

科 目	金 額	備 考
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
(1) 現金	0	
(2) 預金	160,618	
<b>流動資産合計</b>	<b>160,618</b>	
<b>資産合計</b>	<b>160,618</b>	
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>	0	
<b>流動負債合計</b>	0	
<b>負債合計</b>	0	
<b>III 正味財産の部</b>		
<b>1. 一般正味財産</b>	160,618	
<b>正味財産合計</b>	<b>160,618</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>160,618</b>	

## 平成 27 年度 収支計算書

(単位：円)

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

コンサ百年の森づくり基金

科 目	金 額	備 考
<b>I 経常増減の部</b>		
<b>1. 経常収益</b>		
(1) 寄付金収入	100,000	
(2) 受取利息	27	
<b>経常収益計</b>	<b>100,027</b>	
<b>2. 経常費用</b>		
<b>(1) 事業費</b>		
① 植樹活動費	142,000	技術協力費、森の教室
<b>(2) 管理費</b>		
① 支払手数料	432	
② 租税公課	5	
<b>経常費用計</b>	<b>142,437</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 42,410</b>	
<b>II 経常外増減の部</b>		
<b>1. 経常外収益</b>	0	
<b>経常外収益計</b>	0	
<b>2. 経常外費用</b>	0	
<b>経常外費用計</b>	0	
<b>当期経常外増減額</b>	0	
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>△ 42,410</b>	
<b>正味財産期首残高</b>	<b>203,028</b>	
<b>正味財産期末残高</b>	<b>160,618</b>	